

■研究主題

「教科の見方・考え方」を働かせる授業づくり
～自己調整ができる児童の育成をめざして～

■研究仮説

「教科の内容に関すること」と「学習方法や思考の仕方に関すること」の両面からアプローチして教科の「見方・考え方」を働かせる授業づくりに取り組むことにより、児童の学習成績及び学習意欲の向上につながるであろう。

自己調整できる支援方法を授業づくりの核とすることは、教科の内容の定着及び学習方法や思考の仕方の広がりや深まりを効果的に進める手段の一つとなるであろう。

■研究内容

内容面：めあて

教材研究を行い、本時に必要な「教科の見方・考え方」、「分かる・できる内容」を捉え、児童に伝わる「めあて」を設定する。

方法面：自己調整（自己選択・自己決定）

ステップ1・2の児童のアセスメントを行い、それをもとに支援方法を考え、その方法を児童が「自己選択・自己決定（自己調整）」できる学習環境を設定する。

個別最適

方法面：考えの共有

考えを深め、広げるために、多様な考えの共有の場の設定をする。

協働

内容面・方法面：振り返り

自己調整と③考えの共有をしたことによって、①本時に行った見方・考え方、分かった・できた内容の「振り返り」の場を設定する。

（「個別最適」と「協働」したことによる「分かったこと・できたこと」の振り返り）